

2025年度三重大学「学生海外チャレンジ応援事業」報告書

計画タイトル※申請書と同じタイトルを記載すること	採択コース
ダナン大学—ダナン科学教育大学における光触媒研究留学	Aコース

学生情報	
氏名	中島 実希
所属学部・研究科	工学部応用化学科
学年(出発時)	4年

渡航先情報	
渡航先	ベトナム—ダナン
渡航先滞在期間	2025年8月1日～2025年8月14日
訪問先機関等	ダナン大学—ダナン科学教育大学
訪問先機関での身分	学生

渡航概要と内容
<p>私はベトナム・ダナンにあるダナン大学—ダナン科学教育大学の研究室に2週間滞在しました。この研究室では光触媒や有機化学の合成反応に関する研究が行われており、特に環境やエネルギー問題の解決につながる新しい材料の開発に注力しています。私は普段、高分子に関する研究テーマを担当していますが、持続可能な社会の実現に向けて、太陽光を利用した環境浄化やエネルギー変換を可能とする光触媒研究は今後ますます重要になると考えています。そのため、今回の滞在では光触媒や有機合成に関する知識を深めることを目的としました。</p> <p>ダナン科学教育大学は、教員や学生が多様なバックグラウンドを持ち、国際的で活気ある雰囲気になっています。研究活動は英語を基盤に行われるため、実験を通じた学びに加えて、英語での議論や交流を経験することができました。平日は研究室で光触媒や合成反応に関する実験に取り組み、休日には現地の学生とスポーツや観光を通じて交流することで、ベトナムの文化や人々の生活についても理解を深めることができました。</p> <p>今回の経験で得られた知識や視点を、今後の研究活動に積極的に活かし、環境問題の解決に貢献できるような材料開発に取り組んでいきたいと考えています。</p>

渡航により達成できたこと
<p>研究を通じて光触媒や有機合成反応の特性について学ぶことができました。現在、私は高分子化学に関する研究を行っていますが、光触媒研究に触れることで、持続可能なエネルギー利用や環境浄化など、これまでとは異なる視点から高分子化学を考えるきっかけとなりました。そのため、高分子化学と光触媒研究を比較しながら学ぶことで、高分子材料に対する理解を一層深めることができました。</p> <p>また、キャンパス内の活動は基本的に英語で行われており、教授や学生との議論を通じて英語でのコミュニケーション力も向上しました。周囲に日本人がいない環境では、自ら積極的に英語で質問や意見交換を行う必要があり、当初はうまく伝えられず苦労する場面もありましたが、徐々に表現や発音に慣れ、研究の議論にも積極的に参加できるようになりました。さらに、現地の学生と一緒に観光地を訪れたり、ベトナムの料理を楽しんだりする中で、学問的な知識だけでなく異文化に触れる経験も積むことができました。今回の渡航を通じて、研究面と語学面の双方で成長できたことに加え、国際的な視野を広げるという目標を達成することができたと感じています。</p>

渡航を通じて感じたこと・学んだこと

今回の渡航を通じて、日常生活の中で日本との違いを強く感じる場面がありました。ダナンの街では非常に多くのバイクが行き交い、日本とは大きく異なる交通状況や規制の中で、人々が巧みに移動している様子に驚かされました。最初は戸惑いもありましたが、次第にそれが現地の生活に深く根付いた文化であることを理解するようになりました。

また、日常の中で出会ったベトナムの方々はとても親切で、困っていると声をかけて助けてくださることが多くありました。観光の際も、現地の学生や住民の方々に温かく迎え入れていただき、人とのつながりの大切さを改めて実感しました。

こうした経験を通じて、日本では当たり前と思っていた生活習慣を見直すとともに、異なる文化や人々の価値観を尊重する姿勢の大切さを学ぶことができました。

今回の経験を今後の学修及びキャリアパスの中でどのように活かしていくか

今回のベトナムへの渡航は、私にとって初めての海外留学でした。現地に到着してすぐに、自分の語学力の乏しさを思い知らされました。伝えたいことがあるのに言葉が出てこないというもどかしさと苦しさは、これまで日本で過ごす中では味わったことのないものでした。

そんな私に対し、ダナン大学の学生や先生方は常に温かく接していただき、拙い英語であっても一生懸命に耳を傾けてくれました。その優しさに助けられる一方で、自分の力不足を痛感し、悔しさと申し訳なさで胸がいっぱいになりました。こうした感情を抱くことができたのは、実際に海外に身を置いたからこそだと強く感じています。

帰国した今は、語学に対する姿勢が大きく変わりました。英語をもっと学び、より自由に表現できるようになりたいという気持ちが強くなっています。そして、世界中の人々と自分の言葉で交流したいという新しい目標が生まれました。

この事業での渡航を考えている学生へのアドバイス

海外留学は、語学力や積極性に自信のある学生だけが対象となるものではないと思います。むしろ、コミュニケーション能力や行動力に不安を抱いている学生にとってこそ、大きな成長の機会となり得ます。慣れない環境の中で自ら行動しなければならぬ場面に直面することで、主体性や適応力を培うことができます。また、英語力に不安があったとしても、実際に海外へ渡航することで学習意欲が高まり、言語の壁を乗り越える力を養うことができます。私自身も渡航前には大きな不安を抱えていましたが、留学を終えた後には大きな自信を得ることができました。

計画全体にかかった費用(自己負担分も含めて、日本円で記載すること。)

渡航費(往復)	114,440円
海外旅行保険	6,460円
学費(教科書代や大学等プログラム授業料等)	
宿泊費	
光熱費	
食費	10,000円
その他	60,000円
合計	190,900円